

I 教育目標	
パイオニア魂（元氣・根気・勇気）を根本に、繰り返し、自らの課題解決に挑戦する姿勢・態度を身に付けさせ、知・徳・体の調和ある生徒を育成するため、次の目標を設定する。 WE ARE PIONEERS	

II 経営方針	
目指す学校像	○生徒がいきいきとして前向きに頑張る学校 ○保護者・地域に信頼され、期待に応える学校 ○教職員にとって働きがいがある学校
目指す生徒像	○主体的に学び活動できる生徒 ○人権尊重の精神に基づき、他者を認め思いやりの心をもった生徒 ○地域の一員としての自覚をもち、社会に貢献できる生徒
目指す教師像	○生徒の立場に立って考え、生徒から学べる謙虚さをもつ教師 ○生徒に公平に接し温かさと厳しさをもつ教師 ○教育公務員として研修に励み、常に向上心をもつ教師
経営理念	「教育目標」を具現化させる。そのためには、生徒の長所を伸ばし個々に応じたきめ細かい指導を実践し、保護者・地域から信頼され、期待に応えられるように、子どもたちがみんな輝く教育活動を展開する。 (1) 生徒の主体性を重視した教育活動 ・生徒の活動が常に前面にあり、生徒にとって成就感や達成感を味わわせる教育活動を推進する。 (2) 公立学校としての使命 ・学校・保護者・地域の三者一体となり生徒を育成し、地域に根ざした学校づくりを進め将来の地域社会の担い手を育てる。また、保護者・地域と連携して「こうとう学びスタンダード」の実践を通して、基礎学力の定着と学習習慣の確立を図る。 (3) 脚下照顧の姿勢 ・常に自分の指導を省みて、生徒の意欲・能力・資質を伸ばすよう工夫・改善に心がける。

III 経営目標		
	重点領域 1	確かな学力の定着
中期経営目標	(1) 学習指導要領に即した指導方法の工夫・改善に努め、授業の質と指導力の向上 (2) 三年間を見通した学習指導・進路指導・生活指導の推進	
短期経営目標	(1) 「こうとう学びスタンダード」「TT指導」の実践による確かな学力の定着 (2) 学習指導要領の趣旨を踏まえた各教科の基礎・基本の定着と向上 (3) ICT機器を効果的に活用した生徒一人一人の個に応じた指導の実践 (4) 生徒・保護者の希望に沿った卒業後の進路先の保証	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「こうとう学びスタンダード」を実践しわかる授業の工夫、授業規律の確立を全教員が実施する。「チャレンジウエズデー」を通して、自ら学ぶ意欲を向上させる。	スタンダード（3教科・体力）の定着が見られた生徒、主体的に学ぶ意欲が見られた生徒をともに95%以上にする。
2	全学年朝読書の時間を設定するなど読書活動を充実させる。各種検定試験に積極的に受験させ、裏付けのある自信を育成する。	日常生活で読書が身に付いた生徒を85%以上にする。各種検定の3級以上の合格者を受験者の15%にする。
3	オンライン教材を活用し、一人一人の理解度を把握した授業展開に努め、生徒個々の達成感を味わわせる指導法を工夫・改善する。	タブレット端末を積極的に活用し、主体的に学習に取り組み、達成感・成就感を得た生徒を90%以上にする。

重点領域 2		豊かな心と健康な身体の育成	
中期経営目標	(1) 社会性・規範意識の醸成と心の教育の充実 (2) 自他を尊重する人権意識の育成		
短期経営目標	(1) 基本的な生活習慣の定着 (2) 不登校生徒への組織的対応と教育相談の充実 (3) 生徒の発達段階を踏まえた健康教育・食育指導の活性化 (4) 安全指導の充実		
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	あいさつ、時間厳守、服装、持ち物等の指導を登下校時、学級活動、集会等で徹底する。	登校時等であいさつができる生徒を95%以上にする。「学び方スタンダード」の定着率を85%以上にする。	
2	教育相談を充実させ、家庭・関係機関との連携を図りながら、不登校生徒の減少と学級への早期復帰を図る。また、SOSの出し方指導等を通して、生命の大切さを学ばせる。	不登校生徒の発生率を前年の半分以下にし、その生徒の復帰率を20%以上にする。	
3	全校集会での講話、学級指導、道徳授業での規範意識に関する指導を充実させる。	家庭や学校の決まりごとを守っている生徒を90%以上にする。	

重点領域 3		特別活動の活性化・委員会活動や部活動の充実	
中期経営目標	(1) 生徒主体の活動の計画・実践 (2) 生徒の学校への帰属意識を高める教育活動の展開		
短期経営目標	(1) 生徒主体による行事運営 (2) 生徒会活動・学級活動等の活性化 (3) 多様な部活動の展開 (4) 外部人材の積極的な活用		
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	全生徒に活躍させる機会を作る指導を実践する。	活躍した体験1回以上の生徒を90%以上にする。	
2	生徒が主体的に取り組み、達成感を味わわせる学校行事・学年行事を実施する。	行事に主体的に取り組み、達成感・成就感を得た生徒を90%以上にする。	
3	地域と連携して、部活動を通じた生徒の向上心を育成する。	部活動が励みになる生徒を90%以上にし、参加率を85%以上にする。	

重点領域 4		家庭・地域と連携した健全育成	
中期経営目標	(1) 保護者・地域が一体となった教育活動の展開 (2) 社会活動・奉仕活動の充実		
短期経営目標	(1) 学校からの定期的に情報発信 (2) 地域行事の積極参加 (3) オンラインを活用した家庭学習の習慣化 (4) 地域人材の効果的な活用		
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	学校HPの内容を充実させ更新頻度を高め、学校だより・各種通信を定期的に発行する。また、生徒の課題等をオンラインで実施し、家庭と連携した学習を展開する。	学校だより・HP等から「学校の様子がわかる」という保護者を95%以上にする。	
2	保護者、地域自由民の学校行事、交流活動の参加人数の増加を図る。	学校行事や保護者会等に参加する保護者を85%以上にする。	
3	地域学校協働本部の活動を活性化させ、コミュニティスクールへの移行を円滑に行いながら、生徒の健全育成を図る。	地域行事やパイオニア活動等を通して培った地域への帰属感を70%以上にする。	